



# 学校だより

宮古島市立北小学校  
第21号  
文責 呉屋 武志

## 【有終の美を飾る】

子供たちに「有終の美を飾る」という話をしました。難しい言葉ですが、2つの意味で伝えています。  
1つめは「できるようになって終わる」ことです。

**学習面**：漢字の読み書き、四則計算、スラスラ音読、丁寧なノート作り  
そして元気に発表することや運動を楽しむこと。

**生活面**：「あいさつ・返事・後片付け」の躰の三原則。

これらを「やり切った」という自信に変えて、進級してほしいと願っています。

2つめは「感謝をされて終わる」ことです。

「仲間に優しくする」「何事にも一生懸命取り組む」そんな姿は、必ず誰かの心を動かします。担任の先生や友達から「いつもありがとう」「あなたがいてくれて助かったよ」という言葉を贈られるような締めくくりができれば最高です。これから「お別れ遠足」や「6年生を送る会」、そして「卒業式・修了式」と大切な行事が続きます。これまでの歩みを自信に変え、見事にやり遂げて「有終の美」を飾りましょう。保護者の皆様には、最後まで温かい励ましをお願いいたします。



## 「6年1組の公開授業」

本校にて「宮古地区小学校体育研究会」が開催され、代表して「池村和真」教諭が**保健体育**の授業を公開いたしました。教室には他校から30名近くの先生方が参観に訪れ、熱気に包まれた中での授業となりました。

今回特に際立ったのは、「セカンドGIGA」期にふさわしい**ICTの活用**です。電子黒板を最大限に活用し、児童の意見がリアルタイムで次々と画面に集約されていく様子は圧巻でした。また、児童の**タイピングスキル**の高さにも驚かされました。

特筆すべきは「**主体的な姿勢**」です。発表する児童は、大勢の参観者を前にしても堂々と、後ろまで届く声で説明することができました。また、担任との信頼関係が深く、笑顔で対話しながら考えを深めていく姿も見られました。さらに、活発に議論を交わす場面と、先生の指示でスッと集中する場面の切り替えが見事で、まさに「**楽しい授業のお手本**」といえる素晴らしい授業展開でした。



## <和真先生へインタビュー>

- Q 教師になった理由と北小の子供たちへ一言
- A 子供と関わるのが好きだから
- A いつでも優しさを持って行動してください

## 【立ち会い演説会でのあいさつ】

ぼくが児童会役員に立候補しました「前泊 春樹」です。ぼくが立候補した理由は、今の児童会役員のみなさんが運動会や赤い羽根共同募金など、みんなのためにがんばっている姿を見て、ぼくも**人のために役立ちたい**と想ったからです。

ぼくが児童会長になったら、この北小学校を今より**楽しく元気にしたいです**。そのために自分から「おはよう」とあいさつ上手な学校にします。まず、**月に1回あいさつデー**を決めます。5人に自分からあいさつをしたらスタンプがもらえます。それを毎日やってあいさつスタンプラリーにチャレンジしてもらいます。そうすることであいさつ上手な人が増えて、楽しく元気な北小学校になると思います。

ぼくはこれまで級長や副級長に選ばれ、リーダーとしてみんなをまとめてきました。児童会長になったら全力でみんなのためにがんばります。ぜひぼくに清き1票をおねがいします。

「前泊 春樹」



## 「新! 児童会役員」

- |     |       |       |  |
|-----|-------|-------|--|
| 会 長 | 前泊 春樹 |       |  |
| 副会長 | 島尻 琴菜 | 池原 芽音 |  |
| 書 記 | 奥原 羽涉 | 清水 望生 |  |